【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【公開番号】特開2008-113756(P2008-113756A)
【公開日】平成20年5月22日(2008.5.22)
【年通号数】公開・登録公報2008-020
【出願番号】特願2006-298092(P2006-298092)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
Ａ６１Ｂ　1/00　３００Ａ
Ａ６１Ｂ　5/07

【手続補正書】
【提出日】平成21年10月27日(2009.10.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体の内部に配置され、前記被検体の内部の情報を取得するカプセル型医療装置において、
前記カプセル型医療装置の表面に配置され、前記カプセル型医療装置が取得した前記情報を前記被検体の外部に対して出力するための通信が可能な複数の通信用電極と、
前記複数の通信用電極間の状態に基づき、前記複数の通信用電極において前記通信を行うことができる状態であるか否かを判定する判定部と、
前記判定部の判定結果に基づき、前記複数の通信用電極において前記通信を行うことができない状態である場合に、前記カプセル型医療装置が有する各部のうち、少なくとも一部の動作を停止させる制御部と、
を有することを特徴とするカプセル型医療装置。
【請求項２】
前記判定部は、前記複数の通信用電極間の状態に基づき、前記複数の通信用電極間が非開放状態である場合に、前記複数の通信用電極において前記通信を行うことができる状態であると判定するとともに、前記複数の通信用電極間が開放状態である場合に、前記複数の通信用電極において前記通信を行うことができない状態であると判定することを特徴とする請求項１に記載のカプセル型医療装置。
【請求項３】
前記判定部は、前記複数の通信用電極間のインピーダンスまたは電圧値の差に基づき、前記複数の通信用電極間が開放状態または非開放状態のいずれであるかを判定することを特徴とする請求項２に記載のカプセル型医療装置。
【請求項４】
前記カプセル型医療装置は、前記複数の通信用電極間が開放状態で保管されることを特徴とする請求項２または請求項３に記載のカプセル型医療装置。
【請求項５】
さらに、前記被検体の内部に存在する被写体を照明する照明部と、前記照明部により照

明された前記被写体の像を撮像する撮像部と、を有し、
前記制御部は、前記判定部の判定結果に基づき、前記複数の通信用電極において前記通信を行うことができない状態である場合に、前記カプセル型医療装置が有する各部のうち、少なくとも、前記照明部及び前記撮像部の動作を停止させることを特徴とする請求項１乃至請求項４のいずれか一に記載のカプセル型医療装置。
【請求項６】
請求項１乃至請求項５のいずれか一つに記載のカプセル型医療装置を収容する中空の収容空間と、前記収容空間と外部とを連通させる開口を有する外殻体と、
前記開口を水密に閉じる蓋と、
を具備し、
前記外殻体と前記蓋は、防水性を有する絶縁物質により形成したことを特徴とするカプセル型医療装置収容用パッケージ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】カプセル型医療装置及びカプセル型医療装置収容用パッケージ
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、カプセル型医療装置に関し、特に、被検体の内部に配置され、該被検体の内部の情報を取得するカプセル型医療装置及びカプセル型医療装置収容用パッケージに関するものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明は、前述した点に鑑みてなされたものであり、小型化可能であるとともに、未使用時における消費電力を抑制することのできるカプセル型医療装置及びカプセル型医療装置収容用パッケージを提供することを目的としている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明における第５のカプセル型医療装置は、前記第１乃至前記第４のカプセル型医療装置において、さらに、前記被検体の内部に存在する被写体を照明する照明部と、前記照明部により照明された前記被写体の像を撮像する撮像部と、を有し、前記制御部は、前記判定部の判定結果に基づき、前記複数の通信用電極において前記通信を行うことができない状態である場合に、前記カプセル型医療装置が有する各部のうち、少なくとも、前記照明部及び前記撮像部の動作を停止させることを特徴とする。
本発明におけるカプセル型医療装置収容用パッケージは、請求項１乃至請求項５のいずれか一つに記載のカプセル型医療装置を収容する中空の収容空間と、前記収容空間と外部

とを連通させる開口を有する外殻体と、前記開口を水密に閉じる蓋と、を具備し、前記外殻体と前記蓋は、防水性を有する絶縁物質により形成したことを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明におけるカプセル型医療装置及びカプセル型医療装置収容用パッケージによると、小型化可能であるとともに、未使用時における消費電力を抑制することができる。